

5日間の短期集中講座

期間：2021年 8/8～8/31

講座名

地域生活の視点で学ぶ重度身体障害者のくらし —地域で暮らすを覗いてみよう—

(座学と体験を通し、地域で暮らす当事者の実際、それを支える医療、福祉、介助の関わりを深く学べる5日間のプログラム。)



学習内容

座学 地域で暮らす当事者の実際の生活を知り、それを支える医療、福祉の役割と仕組みを理解する

1 地域で暮らす当事者を支える介助者のスタンスを理解する

座学 2 地域で暮らす当事者を支える医療者、介助者双方の視点を通し地域で暮らす身体的重度障害者の疾患を理解する
3 体験先の当事者の方の情報から”事前の問い”をあげる

体験 地域で暮らす当事者宅にて、MISSION 課題にチャレンジ

座学 座学、体験の学びを経て、障害とは何かについて考えを深める

日程

8月8日～31日の内、1・2・5日目は固定日、体験は期間内に2日間 計5日間

講師

重度身体障害者自身と彼らを支える医療、福祉、保健の専門職

対象

帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科1年生

定員

10名

申込・受付

授業にて案内

担当

西 留美子 (帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科 準教授)

メッセージ

本プログラムは、保健・医療・福祉を目指す皆さんに、地域で暮らす当事者の実際、それを支える医療、福祉、介助の関わりを深く学べる機会を作りたいという想いからスタートしました。

今、社会はどうしたら在宅で暮らしていける人を増やせるかの取り組みが長期計画でたてられています。それに欠かすことができないのが地域で暮らすを支える視点になります。普段の授業が「あっ、こういうことか!」と繋がる時間や、これらの将来を考える上でのヒントになるように工夫しています。

本プログラム受講生が新し価値観を持つことができ、自分の今後進むべき道の一助になれば嬉しいです。

NPO 法人 境を越えて カリキュラムプロジェクト実行委員会一同

医療者と介助者の関わり

